

# エネルギー産業の2050年

中司 年哉

# 今回のテーマ選定にあたって

---

- エネルギーの自由化は諸外国も含め遅れている
  - 通信自由化と比較すると30年以上（自身の経験踏まえ）
  - 著書記載内容の大半が今更的内容（他業界から見れば）



インダストリーを超えた改革の可能性

# 本書の構成

---

- 第1章 電力の未来を読み解く
- 第2章 世の中のあり方が変わった
- 第3章 ゲームチェンジ

# 第1章 電力の未来を解く

	制度	技術
楽観的	自由化	IoT
悲観的	ユニバーサルサービス	他業界と比較した遅れ

# 第2章 世の中のあり方が変わった

## 5つのD

Point **1**

**Depopulation (人口減少)**  
過疎化進行によるインフラ持続性の危機  
(コスト増大、ユニバーサルサービスへの影響)

Point **2**

**Decarbonization (脱炭素化)**  
再エネ、原子力>CCS、BECCS  
需給両面の低炭素技術普及により2050年CO2削減率80%達成

Point **3**

**Decentralization (分散化)**  
政策支援 (FIT、RPS、税額控除、ネットメータリング)  
太陽光発電のコスト削減

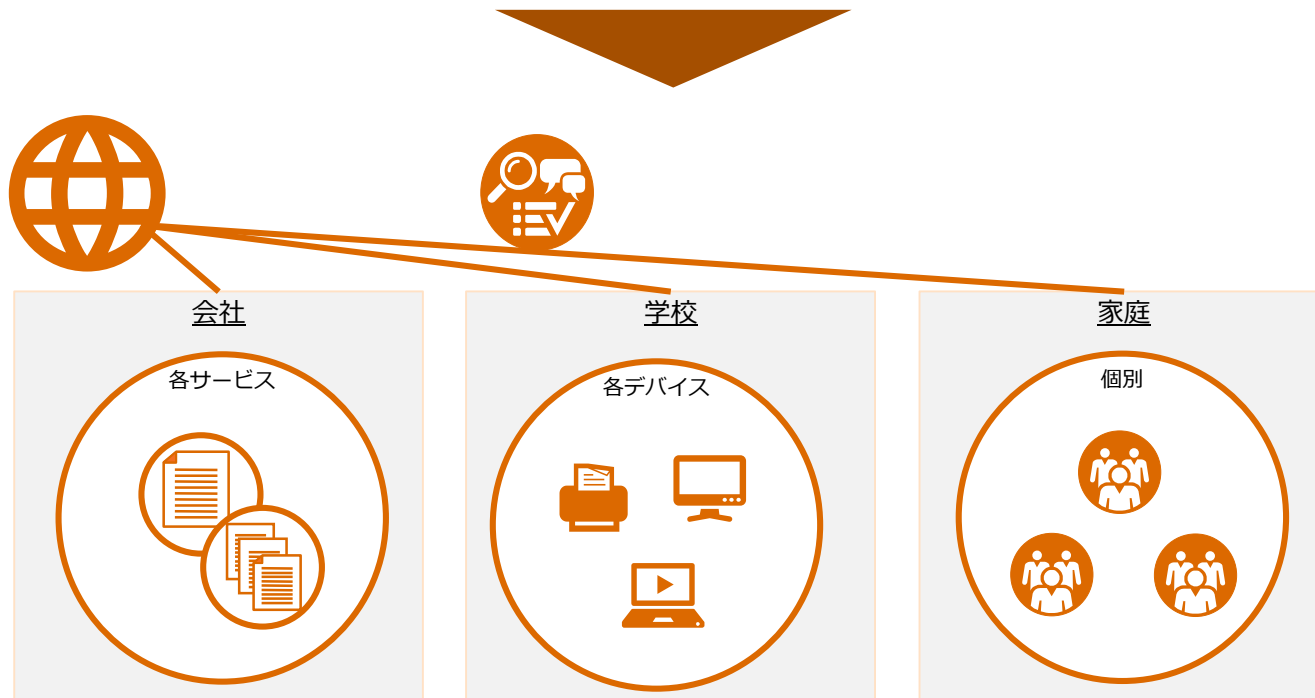
Point **4**

**Deregulation (自由化)**  
発電設備のアデカシー確保、リパワリングを伴う電力システム改革

Point **5**

**Digitalization (デジタル化)**  
利用課金型サービス (ミシュラン、GE、PAY-PAR-LAUGH)

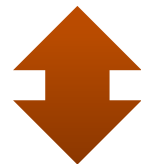
# 第3章 ゲームチェンジ



顧客体験サービスに溶け込むエネルギー小売業

ローミングサービス

AIによる電気の使途、ビジネスの変化



ミッシングマネー問題

原子力問題

ユニバーサルサービス問題